

会社説明会資料

 **株式会社 EMシステムズ**
東証プライム（証券コード：4820）

2024年2月22日

代表取締役 社長執行役員

くにみつ ひろまさ

國光 宏昌

- 2000年 当社入社、益盟軟件系統開發(南京)有限公司總經理
- 2002年 取締役執行役員システム設計部長
- 2007年 取締役執行役員医科システム事業部長
- 2009年 取締役執行役員福岡支店長
- 2014年 常務取締役執行役員チェーン薬局本部長
- 2016年 常務取締役執行役員調剤システム事業部長
- 2018年 常務取締役執行役員システム製品事業部長
- 2020年 代表取締役社長執行役員



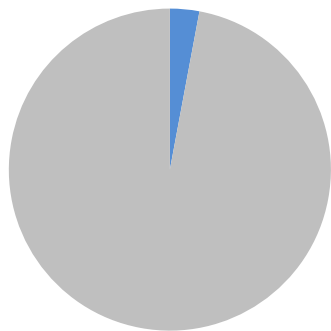
- 01 事業内容**
- 02 在りたい姿の実現に向けて**
- 03 成長戦略**
- 04 株主還元**

01 事業内容

最初に、会社紹介の動画をご覧ください

医科システム事業

シェア 3.4%



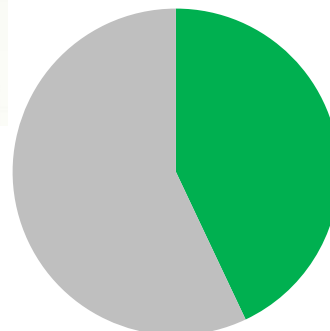
当社お客様 : 3,053件
対象母数 : 90,000件
中期計画目標 : 7,000件

調剤システム事業

シェア 43.7%



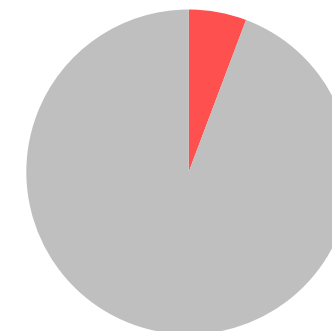
※当社調べ



当社お客様 : 24,059件
対象母数 : 55,000件
中期計画目標 : 25,000件

介護/福祉システム事業

シェア 5.7%

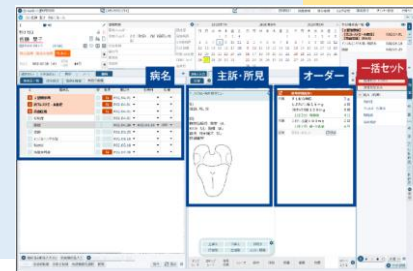


当社お客様 : 14,353件
対象母数 : 250,000件
中期計画目標 : 25,000件

※1 当社お客様件数は当社が販売しているシステム製品のお客様数になります。
※2 それぞれの対象母数は、当社が製品販売先として対象数を独自に設定したものであり、実際に登録されている施設数とは異なります。
※3 中期計画目標は、2022年2月に公表したものです。

- キャッシュレス決済サービス
分析サービス
- 処方箋読取システム
- 本部管理システム
- オンライン服薬指導 & 服薬
フォローアップ対応ツール

医事会計システム 電子カルテ



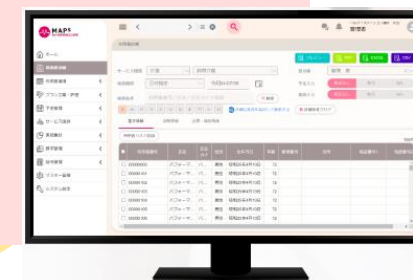
【連動システム】

- 予約
- 診察券発行
- 検査機器
- 分包機
- オンライン診療/服薬指導

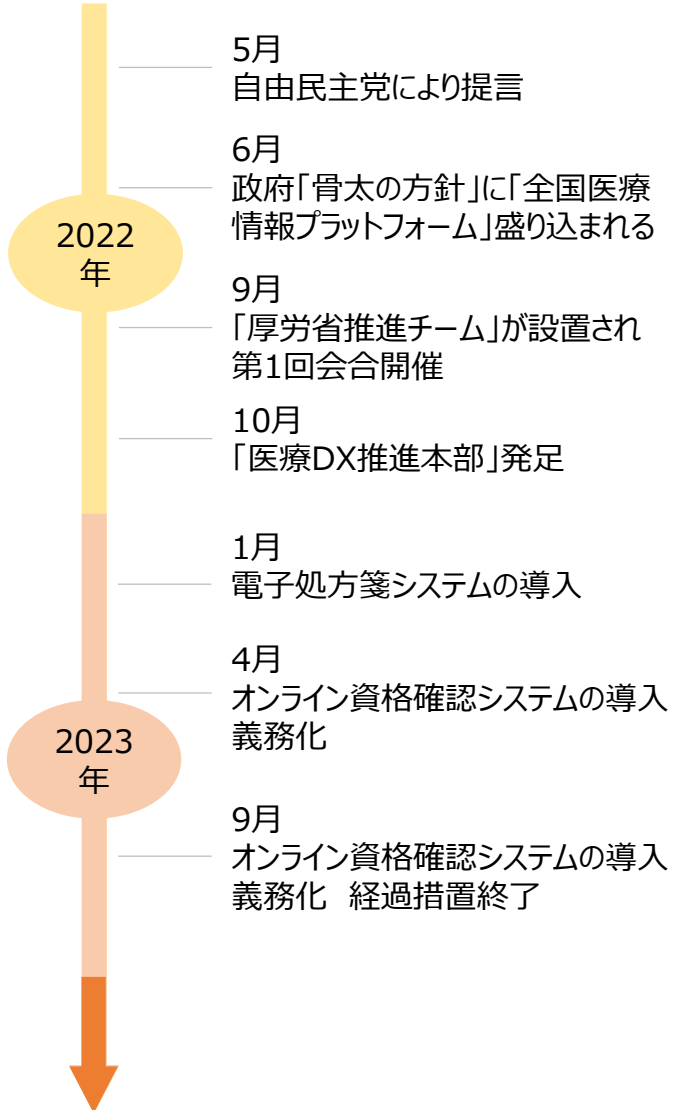
レセプトコンピュータ 電子薬歴



会計システム 記録システム



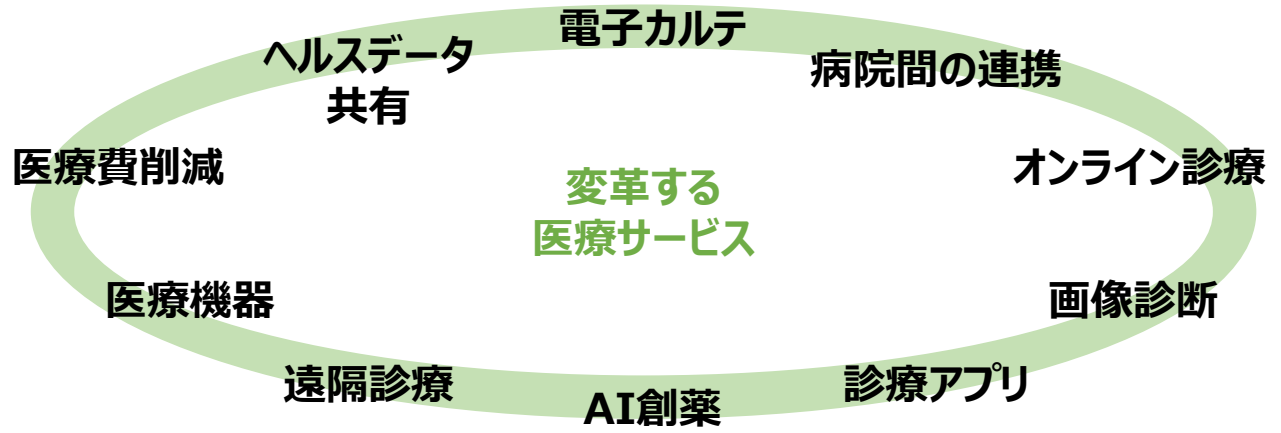
デジタルで日本の医療・介護の現場を支える会社



医療DXとは

医療DXとは、保健・医療・介護の各段階において発生する情報やデータを、全体最適された基盤を通して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えること

出典：厚生労働省



3つの骨格

- 1 「全国医療情報プラットフォーム」の創設
- 2 電子カルテ情報の標準化（全医療機関への普及）
- 3 「診療報酬改定DX」

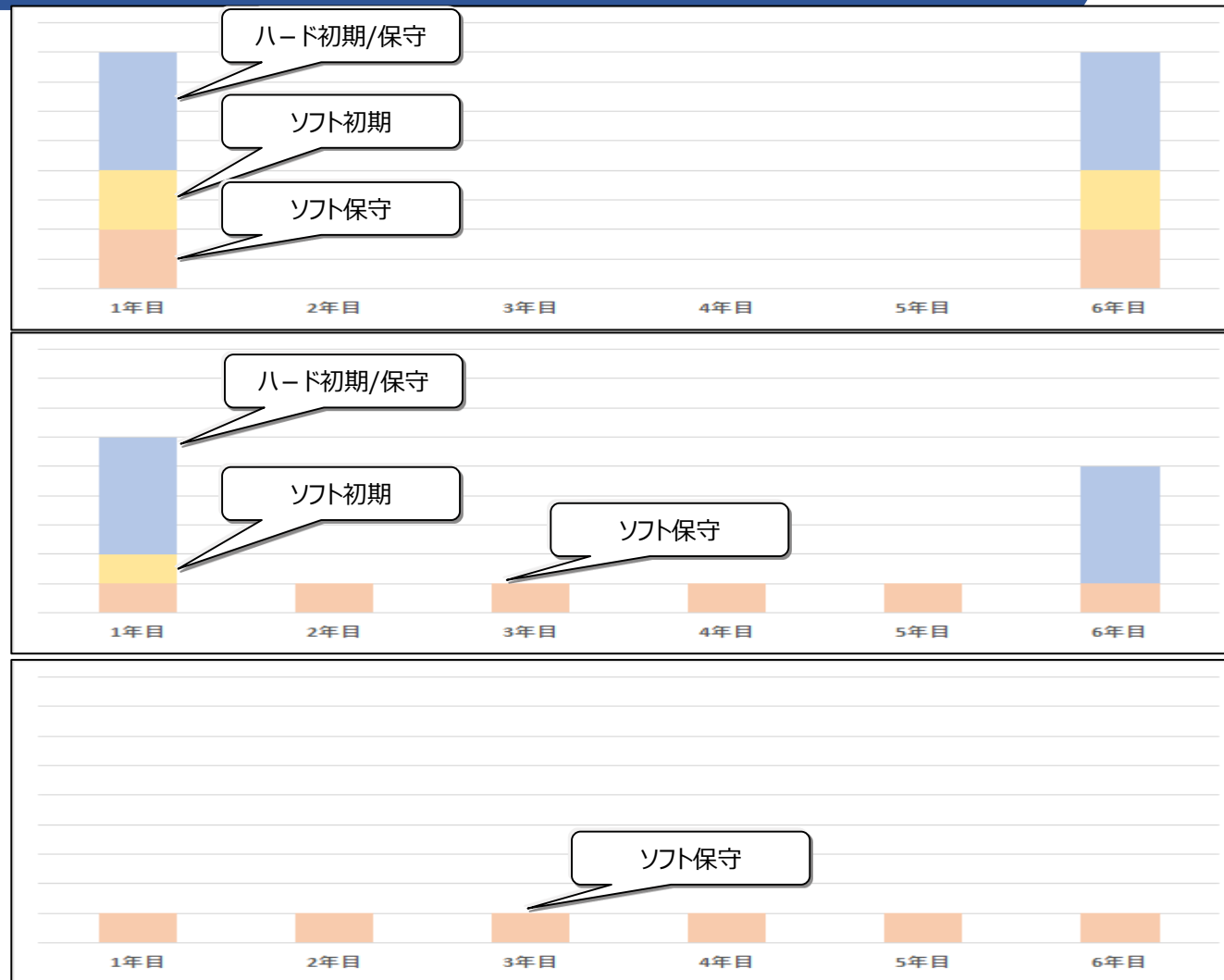
フロービジネス



2008年～
一部ストック型ビジネス



2018年～
完全ストック型ビジネス

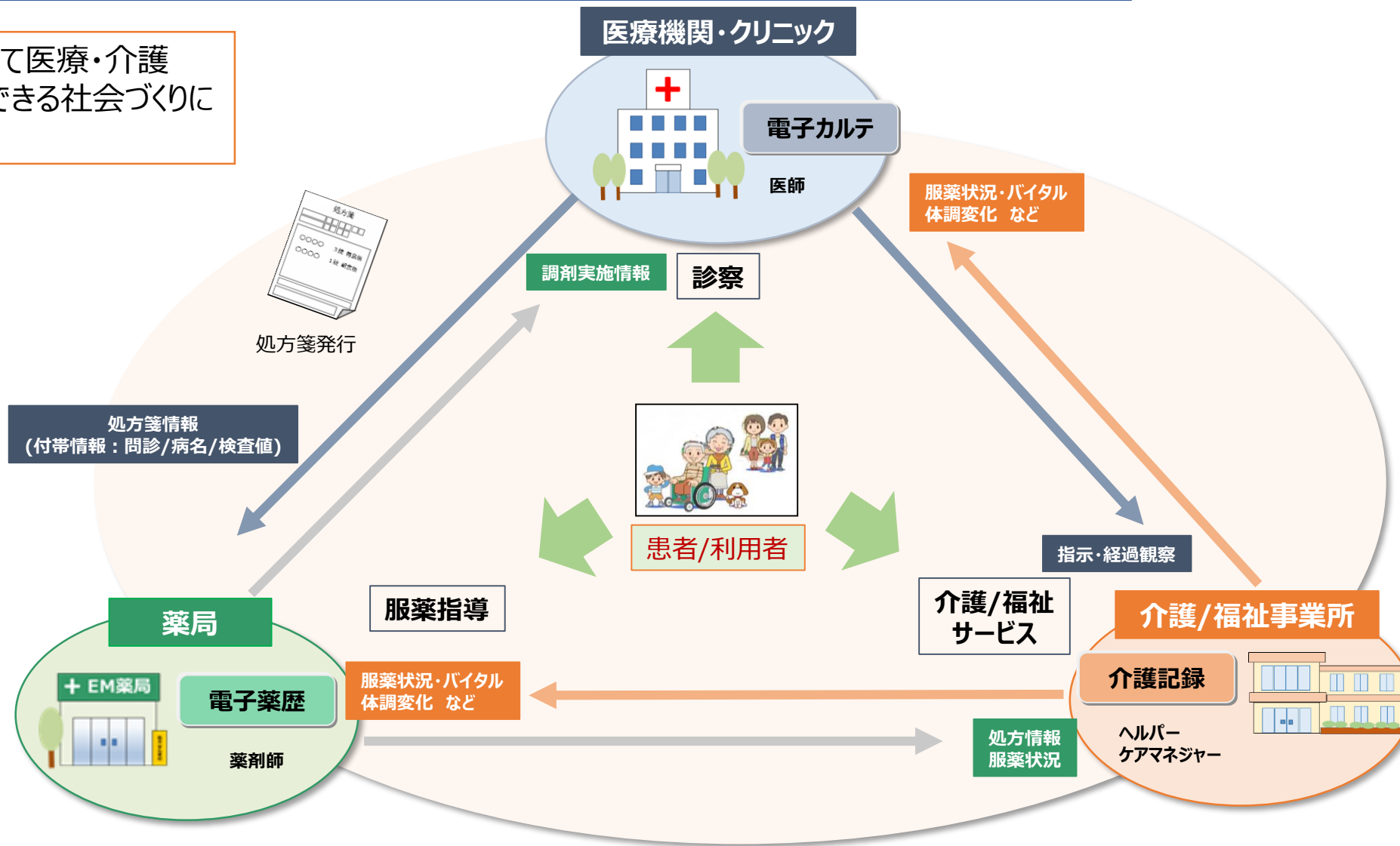


お客様数の永続的な増加を目指し、安価かつ高付加価値製品の提供に取り組みます

02 在りたい姿の実現に向けて

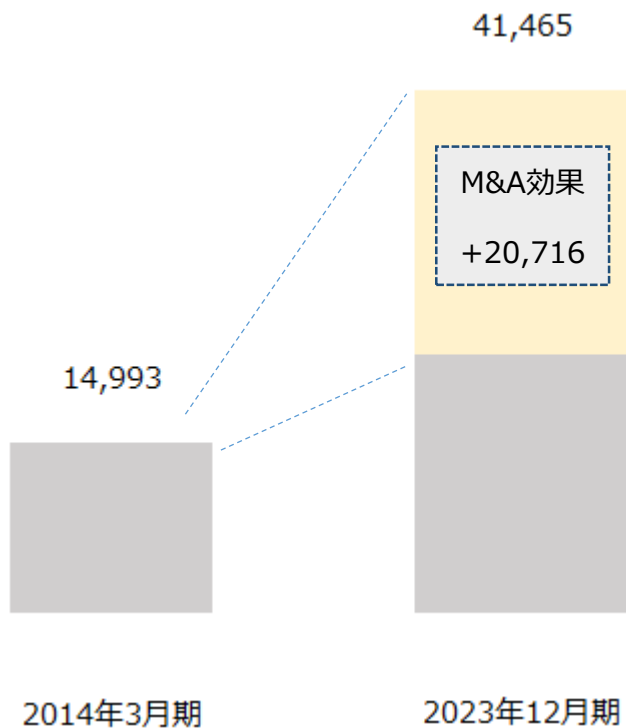
当社が実現するDX ～医療介護情報連携～

患者・利用者が安心して医療・介護サービスを受けることのできる社会づくりにICTで貢献します。



03 成長戦略

10年間の成長



- 調剤市場のシェア拡大、新規市場参入への基盤となる顧客獲得などを目的に、7社の買収を実行
- 対象企業は十分なスケールを有しておらず、利益が低水準であるため、低いバリュエーションで買収が可能
- 中堅ソフトウェア会社が多く存在する為、今後も積極的なM&Aを継続する方針

単位：百万円

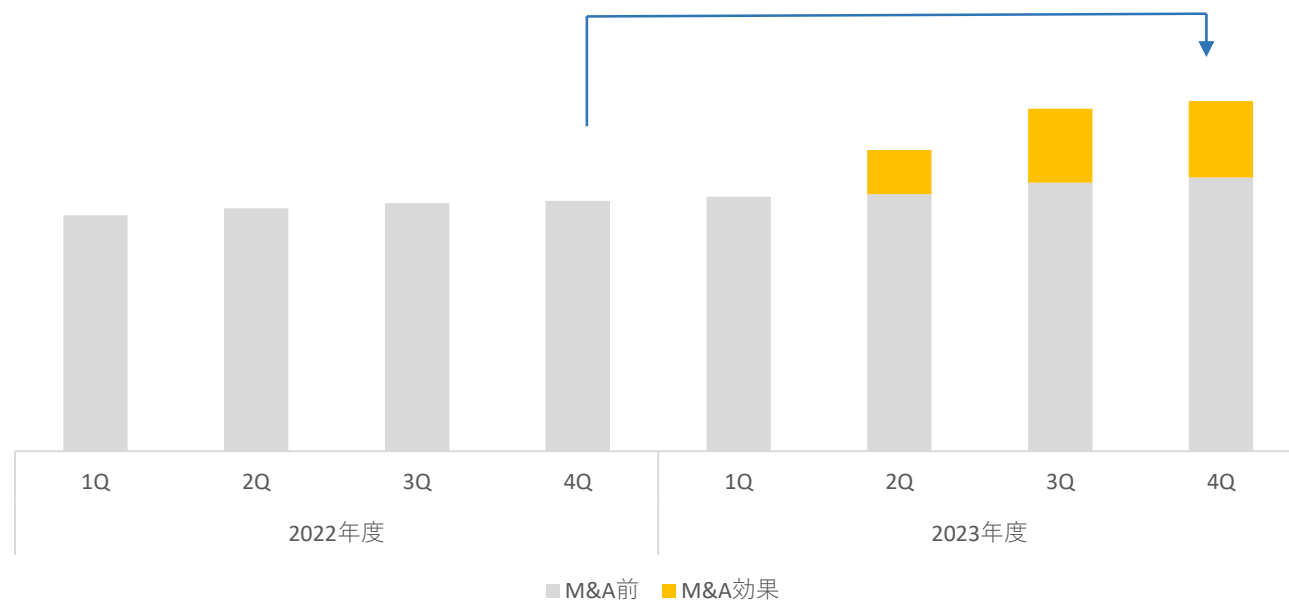
年度	M&A実績	お客様数	買収額	のれん	のれん償却費(年間)
2013年度					
2014年度	(株)ユニコン 医科	1,590 軒	22	230	償却済
	コスモシステムズ(株) 調剤	2,492 軒	147	160	償却済
2018年度	(株)ジャニス 介護	4,312 ライセンス	125	83	16 ※2024年3月に終了
	エムウィンソフト(株) 介護	6,800 ライセンス	69	391	58 ※2024年3月に終了
2019年度					
	(株)ポップ・クリエイション 医科	119 軒	7	△4	—
2023年度					
	(株)グッドサイクルシステム 調剤	2,949 軒※	903	532	106
	(株)ユニケソフトウェアリサーチ 調剤	2,446 軒※	1,343	2,099※	120※

(※EMとの重複分除く) (内 無形固定資産 1,190) (内 無形固定資産 59)

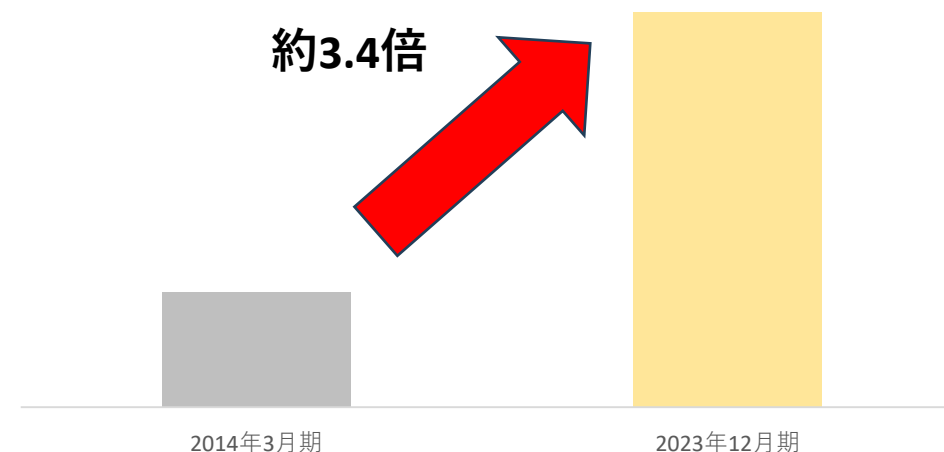
- M&Aが顧客基盤の拡大、課金及びストック売上高の拡大に大きく寄与
- 2023年度に実施した2件のM&Aもそれぞれ、第2四半期・第3四半期より課金及びストック売上高の成長に貢献

YoY成長率 **39.8%増**

課金売上高の推移



ストック売上高の推移



- ストック型の事業基盤を拡大
- 徹底したコスト削減の実施とスケールメリットの追求

プロダクト戦略

- 買収した企業のソフトウェアのアップデート、顧客サポートを継続
- 各社既存のUIを残しつつもエンジンを共通化することで、管理コスト低減と付加価値の向上
- 各社システム付加価値の向上で、課金売上を中心としたビジネスモデルに転換
- 徹底したサポートで、競合製品への乗り換えを抑制（95%以上の顧客が継続）

経営戦略

- 他社リプレイスにかかるコストの削減及び競合エリアにおける価格競争の緩和
- 本社やオフィスの統合移転などを通じたコスト削減策を推進（一部オフィス移転は実施済）
- 共同購買による仕入コストの削減
- 買収した会社によるソフトウェアの重複開発は回避し、開発コストも大幅削減
- 人員削減は行わず、当社グループ内で再配置を実施

チェーン法人向け営業 専門組織の設置

- 調剤システム、介護/福祉システムのチェーン事業所へのビジネスの積極展開を目的とし、チェーン法人向け営業の専門組織を設置

マーケティング戦略

- Web・デジタルマーケティングをより効果的に活用することで、特に医科システム、介護/福祉システムについて当社の課題であった認知度の向上と、着実な新規のお客様の獲得を図る

リアルマーケティング

- 当社独自のセミナー開催
- 他社主催のセミナーや展示会への参加



Webマーケティング

- Web広告や業界サイトを有効に活用し、当社サービスの特長をより広く認知



デジタルマーケティング

- SNSなどを通じて、潜在ユーザーへプッシュアップアプローチが可能



良質なリードの獲得

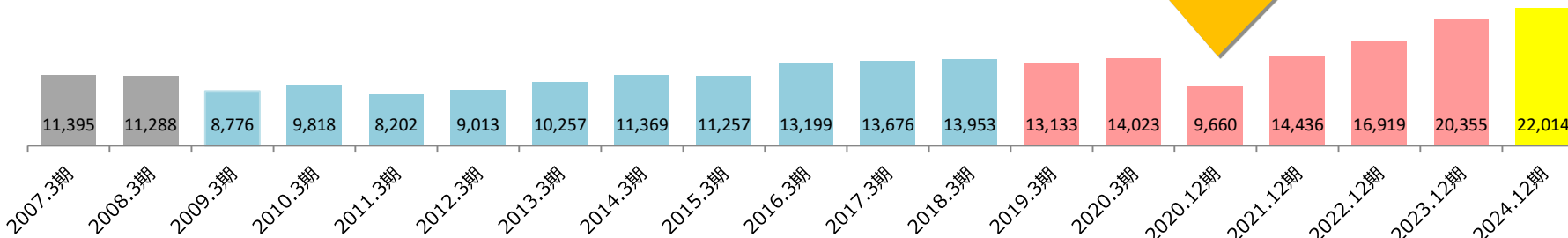
当社インサイドセールスによる
フォローアップ営業
(電話、メール、Webデモ配信など)

『フロー型』 → 『一部ストック型』 → 『完全ストック型』

単位:百万円

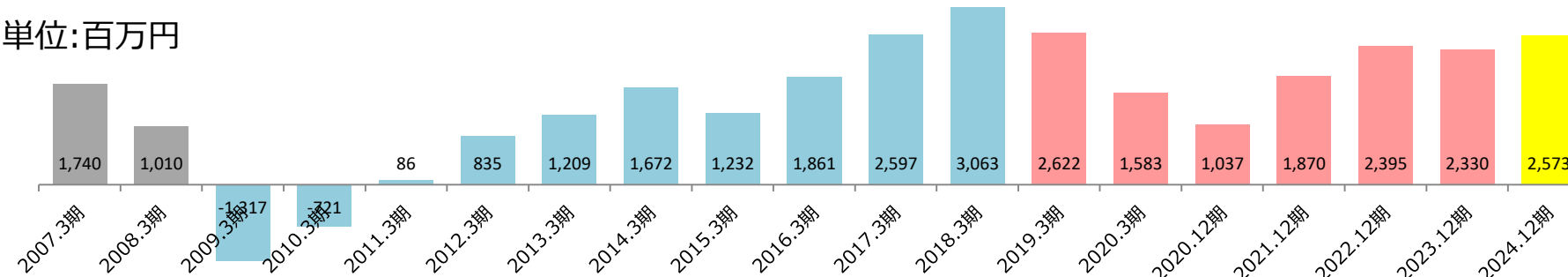
決算期変更により、2020年度は9ヶ月決算

売上高

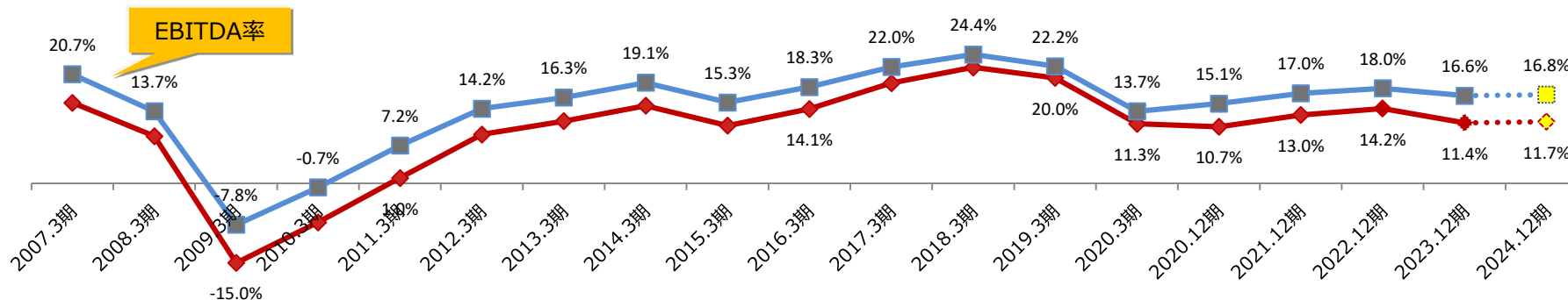


営業利益

単位:百万円

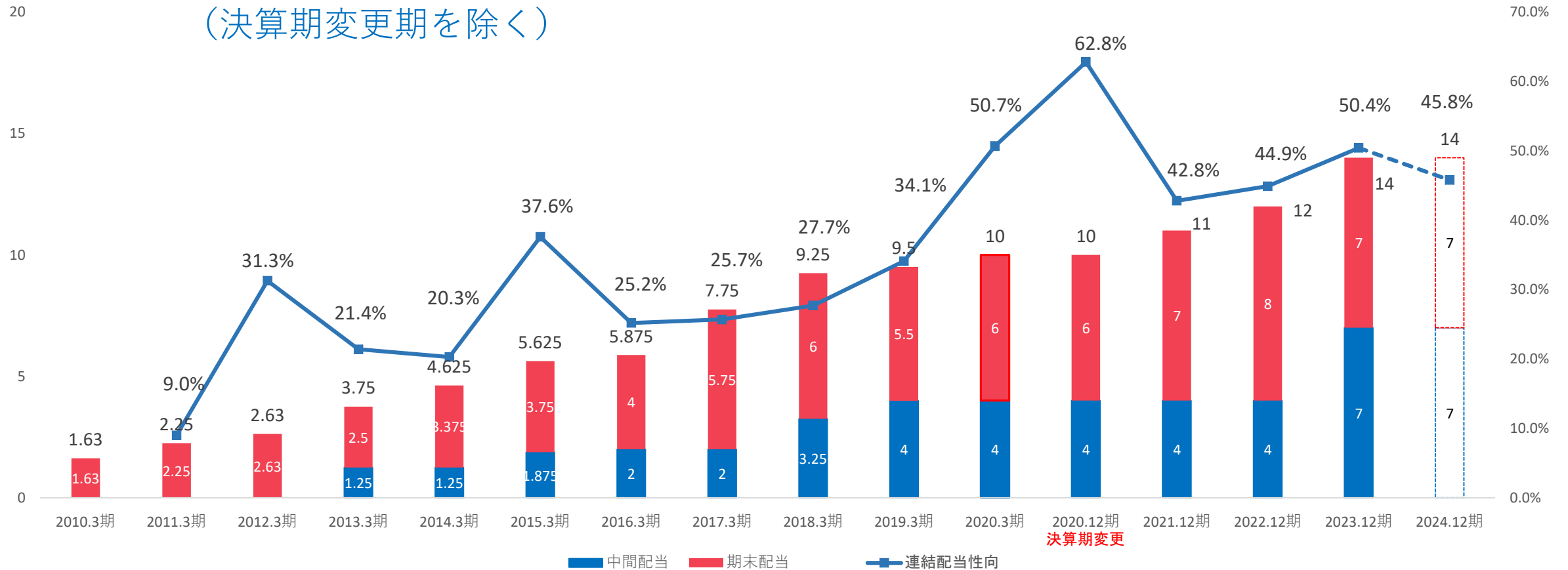


営業利益率



04 株主還元

13期連続実質増配 (決算期変更期を除く)



※1 当社は、2016年4月1日付け、2018年3月1日付け及び2020年1月1日付で、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。上記では期首にそれぞれの株式分割が行われたものと仮定して表記しております。

【ご参考】2024年2月14日決議内容

取得株式総数：上限 160万株
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.26%)

取得株式総額：上限 10億円

取得期間：2024年2月15日から
2024年12月30日まで

取得理由：経営環境の変化に対応した機動的な資本政策、資本効率の向上と株主還元の強化を図るため

取得期間	取得総額
2010年11月10日 ~	5,700万円
2011年02月09日 ~	6,900万円
2011年09月05日 ~	7,900万円
2011年11月11日 ~	7,700万円
2015年05月25日 ~	9,900万円
2018年06月18日 ~	5億円
2019年01月07日 ~	5億円
2020年06月11日 ~	5億円
2022年02月10日 ~	5億円
2024年02月15日 ~	10億円 (上限)

- 優待内容詳細
保有株式数に応じてセルフメディケーション、ヘルスケア商品などお好みの商品を1点選択
(年1回、専用のカタログまたはウェブサイトから選択)
- 権利確定日
12月末
- 対象となる株主様
毎年12月31日現在の株主名簿に記載又は記録され、かつ、**1年以上継続保有された当社株式1単元（100株）以上を保有する株主様**
※「1年以上継続保有」とは、毎年12月31日の株主名簿に連続して同一の株主番号で記載又は記録されていること
- 贈呈の時期
毎年2月下旬

保有株式数	優待内容
200株以上 1,000株未満	1,000円相当の品
1,000株以上 2,000株未満	3,000円相当の品
2,000株以上	5,000円相当の品



株式会社 E M システムズ 総務部 IR担当

ご質問・お問合せ先:

<https://emsystems.co.jp/ir/mailform.html>



医療・介護を「#ありがとう」に変えていく

本説明資料に記載されている内容は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があることをご了承ください。

Appendix

- ◇社名 株式会社EMシステムズ（登記上の商号：株式会社イーエムシステムズ）
- ◇本店所在地 大阪市淀川区宮原一丁目6番1号
- ◇創立 1980年（昭和55年）
- ◇資本金 27億8千5百万円（2023年12月31日現在）
- ◇営業拠点 全国36拠点
- ◇従業員 連結 811名 個別457名（2023年12月31日現在）
- ◇連結子会社 株式会社EMテクノロジー研究所
株式会社グッドサイクルシステム
株式会社ポップ・クリエイション
株式会社ユニケソフトウェアリサーチ
チヨキ株式会社
株式会社ブリック薬局
益盟軟件系統開発（南京）有限公司
意盟軟件系統開発（上海）有限公司

- 売上高は200億円超、ストック売上高も100億円を超えともに**過去最高を記録**
- のれん償却増、特別報酬支給、TVCM放映などにより、営業利益は前期比で**微減益**
- 純利益は**3期連続の増益**。2円増配（配当性向50.4%）。決算期の変更期を除き**13期連続増配**

連結売上高 (百万円)

20,355

前期比
+20.3%

ストック売上高 (百万円)

10,303

前期比
+19.5%

ライセンス数 (件)

41,465

前期比
+17.1%

連結営業利益 (百万円)

2,330

前期比
-2.7%

連結純利益 (百万円)

1,962

前期比
+3.6%

株主還元

配当14円/株

前期比
2円増配

単位：百万円

	2022年12月期 実績※	2023年12月期 修正後通期予想	2023年12月期 実績※
売上高	16,919	20,455	20,355
調剤システム事業	13,530	16,160	16,159
医科システム事業	2,202	2,913	2,802
介護/福祉システム事業	539	550	550
その他の事業	713	956	973
調整額	△ 66	△ 125	△ 131
営業利益	2,395	2,256	2,330
調剤システム事業	3,031	2,791	2,939
医科システム事業	△ 409	△ 66	△ 130
介護/福祉システム事業	△ 211	△ 554	△ 540
その他の事業	△ 42	44	48
調整額	28	42	13
経常利益	2,791	2,805	2,869
当期純利益	1,893	1,764	1,962

※セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

- オンライン資格確認システムの一過性の売上の剥落があるものの、M&A効果、ハードウェアビジネスの拡充、拡販努力で増収を達成する計画
- 徹底したコスト削減と粗利率の高いストック売上の増加で増益も達成する計画
- 電子処方箋普及に対する政府の追加政策によっては、更なる売上・利益の積み上げの可能性あり

2024年12月期業績予想

予想の前提

売上収益 (増収率)	22,014百万円 (+8.1%)	+ 昨年度買収したグッドサイクルシステム、ユニケソフトウェアリサーチの通期貢献 - 一過性の売上（オンライン資格確認システム）は今期見込まず
ストック売上 (増収率)	11,500百万円 (+11.6%)	調剤 ：クロスセルの徹底で、客単価を引き上げる計画 医科 ：システム販売件数は増大の予定 しかし、昨年度のオンライン資格確認システム売上の剥落で微減収の計画 介護 ：MAPs for NURSING CARE、従来のシステム共に売上増加の計画
営業利益 (増益率)	2,573百万円 (+10.4%)	+ 昨年度の一過性のコスト増加要因（特別報酬、TVCM）の削減 + 各部門、子会社でコスト削減を徹底 + 粗利率の高いストック売上の増加に伴う増益効果
当期純利益 (増益率)	2,160百万円 (+10.1%)	- M&Aに伴うのれん償却が通期で影響 - MAPs for NURSING CAREの機能強化に伴い償却が増加

(単位：百万円)

	2023年12月期 実績※	2024年12月期 通期予想※
売上高	20,355	22,014
調剤システム事業	16,159	17,555
医科システム事業	2,802	2,640
介護/福祉システム事業	550	812
その他の事業	973	1,182
調整額	△ 131	△ 177
営業利益	2,330	2,573
調剤システム事業	2,939	3,002
医科システム事業	△ 130	△ 178
介護/福祉システム事業	△ 540	△ 304
その他の事業	48	24
調整額	13	29
経常利益	2,869	3,199
当期純利益	1,962	2,160

全体

- ・M&A効果、ハードウェアビジネスの拡充、インサイドセールスの強化による拡販で増収計画
- ・徹底したコスト削減と粗利率の高いストック売上の増加で増益計画

調剤

- ・(株)グッドサイクルシステムと(株)ユニケソフトウェアリサーチの連結対象期間の変更により、売上高が増加
- ・のれん償却及び改正対応等による製造原価の増加で営業利益は微増

医科

- ・システム販売件数が増えるが、前期オンライン資格確認システム等の特別需要が旺盛だったため、全体として売上高が減少
- ・売上高の減少に加え、改正対応等による製造原価の増加で営業損失は拡大

介護

- ・「MAPs for NURSING CARE」及び「すこやかサン」の拡販により、売上高が増加
- ・粗利の増加で営業損失は縮小

※セグメント別の売上高及び営業利益又は営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。

非財務指標および長期目標の達成、進捗状況の開示
サステナビリティサイトにて詳細を開示 ([リンク](#))

【人的資本についての取り組み】

- 人材育成、研修体制整備を本格化
- 自己スキル充足機会の提供 (e-Learning)
- 従業員エンゲージメントサーベイの導入
「組織風土」「人的資源」に課題
→組織の再編成、経営層と従業員との対話、採用活動を積極化

【目標】

- 従業員エンゲージメントスコアの向上を長期目標KPIとして策定



※株式会社リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」によるエンゲージメントレーティング。全11段階でスコアを算出
対象企業 (2023年11月時点) : (株)EMシステムズ、(株)EMテクノロジー研究所、(株)ポップ・クリエイション、チョコキ(株)、(株)ブリック薬局

外部からの評価

- 健康経営優良法人2023 (大規模法人部門) 認定
- 第7回日経スマートワーク経営調査 3.5星：1段階引き上げ
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数：継続選定
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index：継続選定

